

岡山のオープンカフェ

- 「まちづくり」から「まちづかい」へ

藤本まり子（中国ブロック、まちづかい塾）
金谷啓紀（中国ブロック、まちづかい塾）
長沼 眞智子（中国ブロック、まちづかい塾）

石山公園のオープンカフェ

2005年4月、岡山で社会実験としてのオープンカフェが始まった。3ヶ月後の7月、JUDIの発表会において、岡山のオープンカフェと題し、活動の紹介をおこなった。

場所は岡山駅からもたらろ大通り突き当たりの石山公園であり、そこに決定した理由は以下の通りである。

- ・地域住民、市民、観光客の集まる場
- ・高齢者、若者の交流できる場
- ・都心の中の、落ち着ける場
- ・景観にカフェのなじむ場
- ・継続して活動できる場

「無料喫茶」を定着させるために、月2回第1、第3土曜日開催、当日朝、降水確率40%以上なら中止ということを取り決めとして、今年で3年目にはいる。



前回JUDI発表の時点では、5つの課題を掲げていた。

1. 若者の自主運営にならないか？
2. 保健所への対応
3. 装置（ステージ）の活用
4. 市民、県民へのPR
5. 以下の人たちの参加

ストリートミュージシャン、大道芸人
囲碁、将棋、似顔絵やさん

こういった課題を持ちつつ、活動を継続して12月まで行っていった。

青空無料喫茶 - オープンカフェその後

2006年2月からは新しく賛同者が増えていった。課題も徐々に解決していった。

- ・ライブ演奏を始めた。（課題3解消）
- ・保健所から営業許可を取得した。（課題2解消）
- ・青空工作室（課題5解消）

この年から、オープンカフェ実行委員会を改め、まちづかい塾と改称した。出前カフェ（西川力道公園、岡山駅前広場 - RACDAの支援）等を行い、2007年4月28、29日

には第3回アニバーサリー'07として2日間で1500人以上の人で賑わった。（課題5解消）

これは、市民県民へ大いにPRとなった。（課題4解消）



今年度は石山公園の1号店「青空無料喫茶」は若者が店長になり、自主的に活動を始めた。（課題1解消）



ライブ演奏やアートバザールの参加受付なども行っている。

一方で、2号店として夏の宵限定であるが、柳川ロータリーで新しくJazz Night Caféを始めた。近所の町内会も賛同して、第1回目6月16日から、非常に盛り上がった。

その他、まちづかい塾として、かふえはうすプロジェクトが進行中である。これは、石山公園の青空無料喫茶のテーブル、イスの保管庫を設置するもので、行政に働きかけて可能になった。現在、設計競技として提案募集中である。

「まちづくり」から「まちづかい」へ

今後の取り組みとしては、今年度から「まちづかい人養成塾」を開催する。街中のいたるところに個性豊かなオープンカフェがあり、歩くだけで楽しい賑わいのある岡山を目指す。また、公共空間の利活用の仕方を一般市民に理解してもらおう。さらに、塾として「オープン dog カフェ」や花見や月見など四季を楽しむ「月星・花フェ」などの提案事業を行うことも考えている。